



第77号 富水地区まちづくり ふれあいだより

発行日 令和7年10月4日
発行 富水地区まちづくり委員会
事務担当 広報分科会会長 内山善弘
住所 小田原市役所地域政策課内
電話 小田原市荻窪300番地
0465-33-1389



QRコード



「ふれあいだより」と
「ふれあい通信」の最新
号およびバックナンバー
一が閲覧できます。

日本では監視が必要な火山が五〇箇所あり、小田原市近くでは富士山と箱根が対象となっています。最後の噴火は一七〇七年の「宝永噴火」。その前が八六四年～八六年と二年間に及んだ「貞観噴火」（じょうがん）が記録されていますが、富士山は歴史的に何度も噴火を繰り返しており約五六〇〇年の間に一八〇回の噴火が確認されています。富士山噴火にはマグマが地表を流れる「溶岩流」と

去る九月一九日（金）午後六時三〇分～八時、西北公民館において、富水地区まちづくり委員会防災分科会主催の「新屋地区防災教室」が開催されました。今回は、小田原市防災对策課 防災士 下澤様に富士山噴火をテーマに説明いただきました。特に「火山灰」型の噴火に備えた食料や装備などがあらためて必要だと認識しました。

富士山の噴火は必ずある

新屋地区防災教室開催



ちょっとおじゃましま～す 高齢者ようす相談所「地域包括支援センターとみず」紹介



『地域包括支援センターとみず』は、令和4年10月より事務所を富水小学校横に移して活動をしています。このセンターは、富水地区在住の高齢者の皆さんのが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続け自立した生活が

送れるようお手伝いをしています。悩みなど相談ごとがある場合は電話してください。相談は無料で秘密は厳守します。電話番号は「0465-44-4900」です。

「火山灰」があります。貞観噴火は頂上からではなく大室山や長尾山などから溶岩が噴出しており、噴火後鮎沢川、酒匂川を伝って足柄平野への到達は一七日と推定され、時間を要するので慌てるのですが、富士山は歴史的に何度も噴火を繰り返しております。一方、宝永噴火では一六日の間に一八〇回の噴火が確認され、必ず噴火はあると見られています。富士山噴火にはマグマが地表を流れる「溶岩流」と

間噴火が続いており火山灰が偏西風に乗って江戸まで届いています。火山灰は即刻被害が及ぶことがあります。火山灰は即座に止まることはなく、一〇センチ積もる必要がありますが、一般車は走ることができません。三センチでも坂道はスリップしてしまいます。宝永噴火規模では足柄平野では一六～三〇センチメートルの火山灰が積もると推定されおり物資の輸送は滞る事に

た形状で気管支や肺にも入り込む

サイズの粒子もあります。肌に付着すると落ちないので、外出する備蓄が推奨され、可能なら二週間分が望ましいとしています。ライフラインは即座に止まることはないと思われるので、冷蔵庫内の食材も含めて備蓄量を考えれば良いでしょう。一日一人三㍑必要な飲料水も含めて準備ください。

火山灰はガラス片など硬く角張った形状で気管支や肺にも入り込みます。

説明会終了後には、防災分科会から消化器の使い方と非常食の試食会が行われカレーの香りが教室内にほんのり漂っていました。